

ツキノワグマのエサ資源調査結果について

例年8月中下旬にかけて、ツキノワグマの秋の主要なエサ資源であるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の果実の豊作、凶作を調査することにより、ツキノワグマの出没傾向を予想している。

1 調査内容

・調査箇所

ツキノワグマの生息がこれまでに確認された主な9市町内の地点

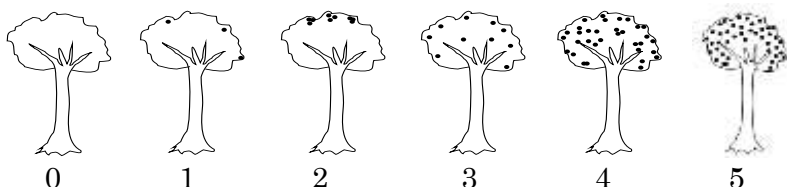
(志賀町・中能登町・宝達志水町・津幡町・金沢市・白山市・能美市・小松市・加賀市)

・調査方法

各調査地点のブナ、ミズナラ、コナラの実の着果の度合を樹木一本ごとに6段階で評価する着果度を調査。着果度の平均値をもって各調査地点の豊凶を判定し、全調査地点の平均値により全体の豊凶を判定

(評価方法)

着果度	状況
0	着果なし
1	一部の枝に粗に着果
2	一部の枝に密に着果
3	樹冠全体に粗に着果
4	樹冠全体に密に着果
5	非常に密に着果



(※各調査地点の調査本数：10～20本)

2 調査結果

樹種	総合予測	全体の着果度平均値	調査地点	内 訳				
				大凶作	凶作	並作	豊作	大豊作
ブナ	大凶作 (凶作)	0.04 (0.24)	24ヶ所 (23ヶ所)	19 (11)	5 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
ミズナラ	並作 (凶作)	1.32 (0.72)	22ヶ所 (22ヶ所)	2 (5)	7 (11)	7 (5)	5 (1)	1 (0)
コナラ	凶作 (並作)	0.73 (1.83)	28ヶ所 (23ヶ所)	6 (0)	6 (9)	5 (5)	1 (7)	2 (2)

※()内は、昨年状況

(着果度調査の判定基準表)

樹種	大凶作	凶作	並作	豊作	大豊作
ブナ	0.1未満	0.1～1.0未満	1.0～2.0未満	2.0～3.0未満	3.0～
ミズナラ					
コナラ					

※着果度の平均

3 着果状況における豊凶結果

区分	各年度の着果状況における豊凶結果											
	H16※	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
ブナ	×	×	◎◎	▲	▲	▲	◎	▲	○	○	▲	×
ミズナラ	×	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎◎	▲	○
コナラ	×	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	▲
目撃件数	1,006	353 (80)	60 (40)	126 (84)	147 (123)	256 (153)	195 (141)	246 (188)	200 (162)	178 (148)	350 (213)	- (219)

凡 例	
大豊作	◎◎
豊作	◎
並作	○
凶作	▲
大凶作	×

※H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施

※()内は9月7日時点の目撃件数



ブナの果実



ミズナラの果実



コナラの果実